工事内容書【窓等開口部の断熱改修工事】

	番号	施工箇所	改修後				熱貫流率（W/㎡･K）	窓サイズ（mm）		面積（㎡）	補助金額
			施工方法	建具の種類	建具の材質	ガラスの仕様		幅（W）	高さ（H）		
記載例	窓①	2階南洋室	内窓設置	二重構造	外：アルミサッシ 内：樹脂	外：単板ガラス（既存） 内：単板ガラス（新規）	2.33以下	1700	1500	2.55	14,000
記載例	窓②	LDK	外窓交換	一重構造	樹脂と金属の混合	低放射複層ガラス（12mm）	3.49以下	2000	1800	3.6	20,000
記載例	玄関	玄関（引戸）	ドア交換（引戸）	一重構造	木製	低放射複層ガラス（12mm）	3.49以下	1500	2000	3	25,000
										合計金額	0 円

※1 「番号」は**施工図面**，**出荷証明書**に記載の番号と一致させてください。

2 「施工方法」欄には，窓の場合は「内窓設置」「外窓交換」「ガラス交換」の別を，ドアの場合は「ドア交換」と記載してください。

3 「建具の種類」「建具の材質」「ガラスの仕様」は「判断基準」を参考に記載してください。（建具の種類は、ガラスではなく建具の枚数を指します。）

4 「判断基準」に記載のない「建具の種類」「建具の材質」「ガラスの仕様」を採用する場合は，「判断基準」記載の熱貫流率を満たすことを証明する資料を添付してください。

5 窓サイズは，内窓設置及び外窓取替の場合は建具枠の寸法を，ガラス交換の場合はガラスの寸法を記載します。また，面積欄は小数点第3位以下を切り捨てて記入してください。（内窓及び外窓は、セット単位で面積を計算します。）

令和2年度

【様式第2号別紙3】

工事内容書【屋根又は天井，壁，床の断熱改修工事】

住宅の構造	木造（充填断熱工法）

	番号	施工部位及び箇所	改修後 断熱材の施工方法	断熱材の種類	断熱材記号（A-E）	熱伝導率 W/(m²・K)	敷設厚（mm）	熱抵抗値 W/(m²・K)	施工面積（m²）	断熱材使用量（m²）	補助金額
	【壁】		壁全体で、全部位120,000円または部分60,000円のいずれか一つしか申請できません。								
記載例		全体	充填断熱工法	吹込み用グラスウール(GW-131K)	D	0.040	240	6.0	30.0	7.2	120,000
	【屋根・天井】		屋根・天井全体で、全部位36,000円または部分18,000円のいずれか一つしか申請できません。								
記載例	壁①～③,①	1階南面	充填断熱工法	吹込み用グラスウール(GW-131K)	C	0.035	160	4.6	60.0	9.6	36,000
記載例	壁①～③,①	1階南面	充填断熱工法	既設：吹込み用グラスウール（GW-131K）	A-1	0.052	140	2.7	25.0	3.5	18,000
	【床】		床全体で、全部位60,000円または部分30,000円のいずれか一つしか申請できません。								
											0 円

※1　改修方法が施工部位ごとに異なる場合は，【窓等開口部の断熱改修工事】と同様に**施工図面**記載の番号と一致させてください。
　2　「断熱材の施工方法」「断熱材の種類」「記号」「熱伝導率」「敷設厚」「熱抵抗値」カタログ等を参考に記載してください。
　3　既設断熱材の性能も加える必要がある場合は，一行を利用して性能等を明示してください。
　4　断熱材使用量欄は小数点第3位以下を切り捨てて記入してください。